



奈良町にぎわいの家～夜



奈良町にぎわい通信

Vol.41

二〇一八・白露〜秋分

発行
奈良町
にぎわいの家



つし2階アート企画「つうずれる」

ルイズ・ローランド

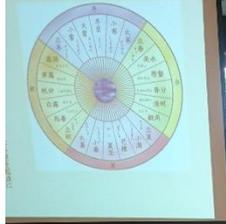


ローラ・トンプソン





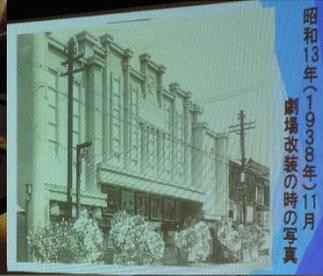
学びの秋
芸術の秋
にぎわいの秋



倉橋みどりさん
による
二十四節気講座。
秋の俳句も紹介。



史料保存館コラボ企画「タイムトラベル奈良町」は「尾花座」
明治、大正、昭和の舞台、映画の華やぎが伝わって。



昭和13年(1938年)11月
劇場改装の時の写真



済美小学校の皆さん、
ルイズのポスト
カードで大盛り上がり。
「椅子に見える」
「お風呂！」などなど。



ルイズ・ローランドさん



つし2階アート企画「つうずれる」
イギリスの作家の作品が。



ローラトンプソンさん来日！
キュレーターの中野温子さんと
トークを。



ローラの作品空間に興味津々。「うわあ！」の声。

奈良町にぎわいの家 9月のイベントから



食欲の秋！おはぎに
かまどご飯に奈良漬！



奈良町 施設巡りトーク～Vol.2「ならまちセンター」

お話
事務長
村井敬一さん



・施設紹介

旧奈良市庁跡に平成元年に開館された、ホールや会議室、図書館などの複合施設です。文字通り、平成に重なる形で年月を重ね、今年で30周年を迎えました。これまで、市民の皆さんのイベントや発表会、奈良市関連事業、また落語やコンサート他、自主事業など、地域に根ざしたイベントを開催してきました。

・ホールの特徴

300人収容のホールは、この規模のホールとしては、舞台の奥行きが深く、舞台袖も広いので、舞台美術のイメージを膨らませやすい空間です。客席は可動式でイベントによってレイアウトを変えることもできます。音響、照明スタッフに相談しながら、自分たちなりのプランをたてることもできます。どうぞお気軽にお問い合わせください。

・生の舞台の実感

舞台袖で緊張されていた出演者が、スポットライトを浴び、活き活きとステージで活躍される様子は、生きている実感に満ちています。ちょっとした裏の動きが、舞台の出来に関わることもあるので、良い舞台になるよう、支えていきたいと思えます。

・地域の核となるイベントの場として

身近に使っていただける空間として、その良さをもっと知っていただき、共にイベントを作っていけたらと思います。規模的にも、「何かをやってみたい」という声に応えられるホールです。市民の皆さんの気軽な発表の場として、また、自身の表現の場として、地域の文化活動の核となる施設でありたいと願っています。そのためには、今後、ホールに関わって下さるサポーターやボランティアスタッフなど、舞台を支える側の活動に興味を持ってもらい関わっていただけるような仕組みも必要かもしれません。最後に、開館30周年企画として、春からコンサートなどを中心に開催しています。12/8には「祝歌」と題して、尺八とクラシックのコラボコンサートを、12/23にはクリスマスファミリーコンサートがありますのでぜひ、お越しください。

(聞き手・文責…おの・こまち)



開館時間 9:00～17:00
休館日 月曜日
 年末年始
所在地 〒630-8362
奈良市東寺林町38番地
連絡先
電話 0742-27-1151

つし2階アート企画Vol.16「つうずれる」 展示作家、ローラ・トンプソン来日！

9/30まで開催のつし2階アート企画はイギリスのローラ・トンプソンとルイズ・ローランドの作品展。(キュレーション・中野温子)スカイプでの交流や来館者の手紙から「ホーム」をテーマに作品を制作するプロジェクト。この度、ローラ・トンプソンさんが来日、奈良に住む子どもたちが伝えた「家」のイメージから、つし2階奥に独自の「ホーム」を創りあげました。「畳」につながる空間にしたかったとのこと。実際の畳を見て、目の細かさにびっくりした！とローラさん。9/2には来日トークも開催しました。(本号表紙に関連写真)

トークの様子。
スカイプ交流の
おさんと対面も。



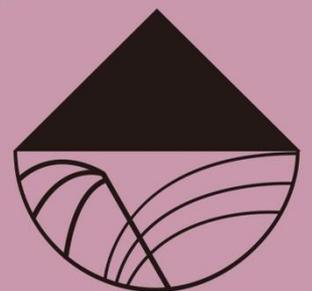
右より
キュレーションの中野さん。
アーティスト、ローラさん。
通訳の辻さん。



亡くなった人を偲び、言葉を交わすように歩く道、その畦に一筋の彼岸花が燃えるように咲いています。

逝きし人と
ことば交はして行く道の
畦にひとすぢ彼岸花炎ゆ

オリジナル節気短歌
喜寿隆子(歌人)
節気マーク
はがきデザイン
金田あおい(藍寧舎)



事務局だより

2018
秋分

彼岸に思う

事務局長 藤野正文

この夏は酷暑に加え、豪雨、台風、地震が立て続き、日本列島が悲鳴を上げているようです。各地で災害にあわれた方・地域の早い復興をお祈りいたします。私たちの日常生活においても、想定外の、経験したことのない災害が起こりうることを念頭に災害への備えを日々意識したいものです。我が家でも何もかも電気で機能しているものばかりで、停電になった場合の備蓄品を再点検しました。

さて、ようやく朝・夜はエアコンいらすの過ぎしやす季節になってきました。早くも昼の時間より夜の時間が長くなる境目の「秋分」です。秋分の日を決めるには、いろいろ手続が必要で、「毎年国立天文台が「秋分日」を含め作成する翌年の「暦象年表」という小冊子に基づき、施行年の前年に閣議で決定されて2月の官報に政令「暦要項」に「秋分の日」として公告される。」とのこと。「秋分の日」は、「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」日として、国民の祝日に定められていますね。また、この日は、太陽が真東から昇り、真西に沈むので彼岸と此岸がもつとも通じやすい日になり、この時期に先祖供養をするようになったようです。前後の3日ずつの計7日が彼岸で、奈良町のお寺では遠くからのお参りの

方々を沢山迎えることでしょうか。この時期、にぎわいの家でもかまどをつかった「おはぎづくりのイベント」があります。あんに使われる「あずき」は、古くから悪いものを追いはらう効果があるとか。この時期にあずきを使った食べ物を食べることは、自然への感謝や祈りに深くむすびついているので

多摩美術大学 ならまちプロジェクト展

環境デザイン学科の学生による、奈良町のデザイン。住居、商業・コミュニティ施設、町並、観光まで、多様な視点で提案。8/28に奈良町物語館で発表後、作品を当館蔵に展示。若い斬新なアイデアに目を見張りました。



←発掘現場を町家の中に。

新たな「会所」→スタイルの提案。



JR東海の観光キャンペーン「うましうるわし奈良」に当館登場！

9月から新幹線や山手線の車内に、当館を撮影したポスターが掲示中！「ならまち元興寺編」と題して、元興寺を始め奈良ホテルや庚申さんなど、ポスターは幾種類か作成され、奈良町にぎわいの家は、2種類、着物姿の女性が当館の前で佇む風景で、塀の藍、漆喰を美しく撮ってもらいました。今年は元興寺創建1300年と古都奈良の文化財世界遺産登録20年の節目の年。関東からのお客様のお越しを期待して！

こんなアングルでの広告が東京で展開中。
(こちらの撮影は、当館、長谷部資朗)

関連ホームページ うましうるわし奈良 <http://nara.jr-central.co.jp>

奈良町にぎわい通信vol.41

制作...奈良町にぎわいの家管理共同体
発行人...二十軒起夫
編集・構成...おの・こまち
表紙デザイン・レイアウト...福田昭一
撮影...奈良町にぎわいの家スタッフ

奈良町にぎわいの家 9:00~17:00 水曜日・休館
〒630-8333 奈良市中新屋町5 TEL 0742-20-1917

nigiwainoie@gmail.com

<http://naramachi-nigiwainoie.jp/>

書...逢香



奈良町にぎわいの家
オリジナル節気マーク



白露

9/8~22



秋分

9/23~10/7

立秋のひかりをはじき蜻蛉とぶ木斛(もくこく)の
幹に仮面を懸ける
前登志夫



つし2階アート企画vol.16
ローラ・トンプソン 作品



奈良町にぎわい通信

Vol.41

二〇一八・白露〜秋分

発行
奈良町
にぎわいの家



奈良町にぎわいの家〜夜

